

2024 年 9 月 26 日所長会見 所感

- 本日、私からは 2 点お話しさせていただきます。
- 1 点目は、発電所の安全性を高める取り組みについてです。お手元の「発電所における火災リスク低減の取り組みについて」とある資料をご覧ください。
- 発電所では、これまでも火災等のリスク低減を目的に、ハード面では非常用ディーゼル発電機の休止運用、変圧器の油抜き取りを行っています。
- ソフト面では、協力企業の皆さまと合同で、溶接等の火気作業を行う現場のパトロールを毎月 1 回実施しています。
- それらに加えて、9 月 17 日に屋外の仮設分電盤等、サビが生じて電気の回路が短絡し、火災につながるリスクが高い箇所について、電気火災防止の観点でパトロールを実施しました。
- 発電所は海に面しているため、潮風の影響もあり、屋外にある設備はサビが生じやすくなります。
- そのため、防火担当として発電所に勤務している元柏崎市消防署長の知見を活用し、ユニット所長や電気安全担当、防災業務を担当する所員等でパトロールを行いました。
- なお、元消防署長の防火担当には、日々現場を確認する中で、例えば、ベルトコンベヤーの回転部は、ほこりで発火しやすいため清掃を行うこと、等の指導をいただいています。
- このように、何か気付きがあれば所内へフィードバックし、発電所の防火に貢献してもらっています。

- また、翌 18 日には、新たに各協力企業の中で選任いただいた「電気保安推進者」を対象に、過去の火災や焦げ等の火災まで至らなかった実例に基づく勉強会を開催しました。
- 勉強会では、プラグがコンセントに確実にハマっているか、未使用のコンセントにキャップが取り付けられているか、といった運用面・管理面でのポイントをお伝えしました。
- その他にも屋外設備を点検する際には、内部にサビや水滴等の跡が無いか、ねじの緩みや変色が無いか、といった着眼点も確認し合いました。
- 今後、屋内の可燃物や、屋外の伐採木、除草後の枯草等が適切に管理されているかといった観点でも、協力企業の皆さまと一緒に現場のパトロールを行ってまいります。
- こうした取り組みを積み重ね、地域の皆さまにご安心いただける発電所となるよう、発電所一丸となって防火に努めてまいります。
- 2点目は、コミュニケーション活動についてです。
- 柏崎刈羽地域における、10月までのコミュニケーションブースの開催予定は、お手元にお配りしている資料のとおりです。
- 10月5日、6日の、サービスホールイベントでは、コミュニケーションブースの他、発電所の消防車や電源車への乗車体験、工作やキッズダンス等、お子様に楽しんでいただく催しも予定しています。
- 加えて、夏のイベントに引き続き、バスツアーも実施いたします。

- バスツアーは、クイズを交えながらお子さまも楽しめるショートコースと、現場ごとに詳細な説明を行うロングコースの2パターンで行います。
- また、バスツアーは、UPZ圏内で開催されるコミュニケーションブースからもお越しいただけるよう、検討を進めているところです。
- 引き続き、コミュニケーションブース等の活動に私自身も参加し、皆さまからいただいたご意見を発電所運営に反映することで、地域の皆さまにご信頼いただける発電所を目指してまいります。
- 本日、私からは以上です。